

# 西小学校PTA

## 帯広市立西小学校 夏の危ないことを 知ろう調査

交通量が多く、郵便局の駐車場もあり(車止めのうしろを待ち合わせ場所に行っているときがあるが、安全な場所とは言えない。)、車の出入りも激しい。中学生の帰宅時間とも重なると、非常に混雑した状態になる。低学年は小さいので死角に入り、とても危険である。横断歩道は大人が付かないと渡れないことになっているが、周知されきっていない。子どもだけで渡ってもいいと誤った認識をしている子もいる。幼稚園バスが停まることもあり、死角ができる。

登下校時(夏休み中も)、縁石の上を歩く子どもがいる。注意しても一時的にしか聞かないので、繰り返し指導する必要あり。自転車の斜め横断も目に付く。帰宅時刻については、午後5時までには帰宅しましょうという約束になっています。まだ明るいからといって遅くならないよう、各家庭で子どもとよく話しておくことが望ましいでしょう。

この横断歩道は通学路ではないが、時折渡っている子がいる。

国道との出入りの車がスピードを落とさないで危険である。

東西に走ってくる車が結構あり、一時停止がないので危険。公園があるが、公園へ渡る南北の横断歩道がなく、子ども達も交差点を渡るので危険である。

あさの車通りが多く、横断歩道を渡っている人を見落とす危険性がある。

北伏古球場周辺。近くに川があり危険。人通りが少なく、林もあり人目に付かない。昼夜を問わず駐車場に車が止まっている。

つくし公園と、その周辺。公園を囲むように道路があり、子どもが飛び出してくる場合がある。自転車で暴走する学生もいた。夏場は遅い時間でも学生がいることがある。たまたま、不審者情報がある。狭いわりに交通量が多い。

住宅地内に公園がないことから遊び場になっている。国道から入ってくる車には気付きにくいので注意が必要。

歩道がなく、道路自体も狭い。車も徐行することが少なく危険である。

踏切り。恐いと感じている子どももいるが、慣れてバーに近づきすぎたり、注意不足になっている子どももいる。西側は狭い上、中学生が多く通るので注意が必要。

保育園と病院の送迎車の出入りが多い。直接横断歩道の上に車を出して信号待ちする車がある。

北進する子が、信号の色に関わらず、立ち止まらずに渡ってくる。朝の交通安全指導は、信号側ではなく南側で指導して欲しい。

小公園。遊具が古く、滑り台などぐらついている。夜になるととても暗く、以前、ゴミのポヤ騒ぎがあった。

アンダーパス内は、暗いので不審者と自転車に注意。横の道は歩道が狭く、車もスピードを上げて通るので非常に危ない。アンダーパスの上の道。フェンスによじ登っている子どもを見かける。大変危険である。歩道があるが狭く車道を歩く子どもが多い。冬期間は除雪されないことが多いため、冬や通行時に雪山の上を歩いている様子が見られる。

駐車場の車の出入りに注意。

子どもにとっては、どの信号機を見ればよいのか分かりづらいようである。赤信号で渡っている子どもがいた。

朝、夕の交通量が多い。右左折の際、意外と歩行者を見ていないので危険。セブンイレブンの駐車場も車の出入りが激しく、注意が必要。

公園内はあまり人気がないので、小さな子だけでは、水場や不審者など、気を付ける必要あり。

各家庭からお寄せいただいた、校区内で危険と思われることや場所です。登下校時や放課後の安全な過ごし方について、お子さんとお話をしてみてください。

